常磐大学　総合政策学部法律行政学科　成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「ゼミナールⅠ」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59～0 点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評　価　基　準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）「学びの技法I」「学びの技法II」や「基礎ゼミナール」などで培った基本的なアカデミックスキルの実践ができる。［行動］	基本的な文章作成能力 （誤字脱字の有無、段落処理など）	レポートなどの成果物の本文が、以下の点をすべてにおいて大変優れたレベルで考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	レポートなどの成果物の本文が、以下の点をすべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルで考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	レポートなどの成果物の本文が、以下の点を概ねよく考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	レポートなどの成果物の本文が、以下の点をひととおり考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	レポートなどの成果物の本文が、以下の点を考慮して書かれていない。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる
（2）グループワークやディスカッション等、他者とのコミュニケーションを通じて、他者と協調・協働して学ぶことや、グループに貢献することの重要性が理解できる。［知識］	コミュニケーション能力 （働きかけ力・主体性・状況把握力）	他者と協同で行う活動（グループワーク、ディスカッションなど）において以下のすべての点において大変優れたレベルで理解できる。 ・周囲の人々を援助することができる［働きかけ力］ ・グループの活動において自ら進んで仕事を進めようとすることができる［主体性］ ・グループ内での自らの役割に自覚的である［状況把握］	他者と協同で行う活動（グループワーク、ディスカッションなど）において以下の優れたレベルで理解できる。 ・周囲の人々を援助することができる［働きかけ力］ ・グループの活動において自ら進んで仕事を進めようとすることができる［主体性］ ・グループ内での自らの役割に自覚的である［状況把握］	他者と協同で行う活動（グループワーク、ディスカッションなど）において以下の概ねよく理解できる。 ・周囲の人々を援助することができる［働きかけ力］ ・グループの活動において自ら進んで仕事を進めようとすることができる［主体性］ ・グループ内での自らの役割に自覚的である［状況把握］	他者と協同で行う活動（グループワーク、ディスカッションなど）において以下の点がひととおり理解できる。 ・周囲の人々を援助することができる［働きかけ力］ ・グループの活動において自ら進んで仕事を進めようとすることができる［主体性］ ・グループ内での自らの役割に自覚的である［状況把握］	他者と協同で行う活動（グループワーク、ディスカッションなど）において以下の点が理解できない。 ・周囲の人々を援助することができる［働きかけ力］ ・グループの活動において自ら進んで仕事を進めようとすることができる［主体性］ ・グループ内での自らの役割に自覚的である［状況把握］
（3）ゼミで扱う専攻領域についての理解を深め、自分の言葉で概説できる。［知識］	理解力 （専門領域の視座から課題を理解できる）	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座から、大変優れたレベルで理解できる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座から、優れたレベルで理解できる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座から、概ね理解できる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座から、ひととおり理解できる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座から、理解できない。
	説明能力 （専門領域の視座から物事を説明できる）	社会の出来事（法律、行政、政治、経済など動向）に対してゼミで扱う専門領域から自分の言葉を使って大変優れたレベルで概説ができる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済など動向）に対してゼミで扱う専門領域から自分の言葉を使って優れたレベルで概説ができる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済など動向）に対してゼミで扱う専門領域から自分の言葉を使って概ねよく概説ができる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済など動向）に対してゼミで扱う専門領域から自分の言葉を使ってひととおり概説ができる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済など動向）に対してゼミで扱う専門領域から自分の言葉を使って概説ができない。

常磐大学　総合政策学部法律行政学科　成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「ゼミナールⅡ」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59～0 点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評　価　基　準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）「ゼミナールⅠ」に引き続き基本的なアカデミックスキルの実践が維持でき［行動］、さらに、専門領域によって慣行が異なることが理解できる。［知識］	基本的な文章作成能力 （誤字脱字の有無、段落処理など）	レポートなどの成果物の本文が、以下の点をすべてにおいて大変優れたレベルで考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	レポートなどの成果物の本文が、以下の点をすべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルで考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	レポートなどの成果物の本文が、以下の点を概ねよく考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	レポートなどの成果物の本文が、以下の点が一応考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	レポートなどの成果物の本文が、以下の点を考慮して書かれていない。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる
	高度な言語表現能力 （専攻分野の慣行についての知識）	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、大変優れたレベルで把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、すべてではないものの優れたレベルで把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、概ねよく把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、一応把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、把握できない。
（2）グループワークやディスカッション等、他者とのコミュニケーションを通じて、グループの活動に貢献することができる。［行動］	理解力 （専門領域の視座から課題を理解できる）	他者と協同で行う活動（グループワーク、ディスカッションなど）において以下のすべての点において大変優れたレベルで貢献ができる。 ・グループの活動において周囲の人々を援助することができる［働きかけ力］ ・グループの活動において自ら進んで仕事を進めようとすることができる［主体性］ ・グループ内での自らの役割に自覚的である［状況把握］	他者と協同で行う活動（グループワーク、ディスカッションなど）において以下のすべてではないものの優れたレベルで貢献ができる。 ・グループの活動において周囲の人々を援助することができる［働きかけ力］ ・グループの活動において自ら進んで仕事を進めようとすることができる［主体性］ ・グループ内での自らの役割に自覚的である［状況把握］	他者と協同で行う活動（グループワーク、ディスカッションなど）において以下の点で概ねよく貢献ができる。 ・グループの活動において周囲の人々を援助することができる［働きかけ力］ ・グループの活動において自ら進んで仕事を進めようとすることができる［主体性］ ・グループ内での自らの役割に自覚的である［状況把握］	他者と協同で行う活動（グループワーク、ディスカッションなど）において以下の点で一応貢献ができる。 ・グループの活動において周囲の人々を援助することができる［働きかけ力］ ・グループの活動において自ら進んで仕事を進めようとすることができる［主体性］ ・グループ内での自らの役割に自覚的である［状況把握］	他者と協同で行う活動（グループワーク、ディスカッションなど）において以下の点がができない。 ・グループの活動において周囲の人々を援助することができる［働きかけ力］ ・グループの活動において自ら進んで仕事を進めようとすることができる［主体性］ ・グループ内での自らの役割に自覚的である［状況把握］
（3）社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座を踏まえ自分なりの問題意識を持ち、その上で、課題発見ができる。［行動］	説明力 （視座を踏まえた自分なりの言葉での説明）	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座を踏まえ、大変優れたレベルで自分なりの問題意識を持つことができる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座を踏まえ、優れたレベルで自分なりの問題意識を持つことができる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座を踏まえ、概ね自分なりの問題意識を持つことができる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座を踏まえ、ひととおり自分なりの問題意識を持つことができる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座を踏まえ、自分なりの問題意識を持つことができない。
	課題発見力 （専門領域の視座から課題を発見する力がある）	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座から、大変優れたレベルで課題を発見できる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座から、優れたレベルで課題を発見できる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座から、概ね課題を発見できる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座から、ひととおり課題を発見できる。	社会の出来事（法律、行政、政治、経済などの動向）について、ゼミで扱う専門領域の視座から、課題を発見できない。

常磐大学　総合政策学部法律行政学科　成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「卒業論文Ⅰ」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59～0 点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評　価　基　準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）卒業論文作成にむけて必要な基本的なことが理解できる。［知識・態度］	課題発見能力 （テーマ設定に関する知識がある）	卒業論文とは各自の問題関心に基づきテーマを設定をするものであり、そのために以下のすべての点が必要であるということが、大変優れたレベルで理解できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	卒業論文とは各自の問題関心に基づきテーマを設定をするものであり、そのために以下のすべてのではないものののいくつかの点が必要であるということが優れたレベルで理解できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	卒業論文とは各自の問題関心に基づきテーマを設定をするものであり、そのために以下の点が必要であるということが概ねよく理解できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	卒業論文とは各自の問題関心に基づきテーマを設定をするものであり、そのために以下の点が必要であるということがひととおり理解できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	卒業論文とは各自の問題関心に基づきテーマを設定をするものであり、そのために以下の点が必要であるということが理解できていない。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定
	内容構成力 （主題、論点、批判的考察）	卒業論文作成にあたり、以下のすべての点が重要であることが、大変優れたレベルで理解できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文作成にあたり、以下のすべてではないもののいくつかの点が重要であることが、優れたレベルで理解できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文作成にあたり、以下の点が重要であることが、概ねよく理解できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文作成にあたり、以下の点が重要であることが、ひととおり理解できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文作成にあたり、以下の点が重要であることが、理解できていない。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる
	理解力 （専門領域の視座から課題を理解できる）	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、一貫して大変優れたレベルで把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、すべてではないものの優れたレベルで把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、概ねよく把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、ひととおり把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、把握できない。
	調査・情報精査能力 （資料の使用、論拠）	卒業論文で使用する資料について、以下すべての点が重要であることを大変優れたレベルで把握している。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料について、以下の点をすべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルで把握している。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料について、以下の点を概ねよく把握している。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料について、以下の点を、ひととおり把握している。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料について、以下の点を、把握していない。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる
（2）卒業論文作成にむけて必要な文章の生成ができる。［行動］	基本的な文章作成能力 （誤字脱字の有無、段落処理など）	卒業論文の本文が、以下の点をすべてにおいて大変優れたレベルで考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	卒業論文の本文が、以下の点をすべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルで考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	卒業論文の本文が、以下の点を概ねよく考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	卒業論文の本文が、以下の点をひととおり考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる	卒業論文の本文が、以下の点を考慮して書かれていない。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる
（3）プレゼンテーションなどの発信やグループワークなどの協働作業の機会において、自己の意見を他学生にわかりやすく発信することができるとともに、他学生や教員とのディスカッションにおいて、他者の意見を傾聴し理解することができる。［行動］	コミュニケーション能力 （発信力）	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで自らの意見を述べる機会があるときに、 教員や他学生へ自分の意見を大変優れたレベルで分かりやすく伝えることができる［発信力］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで自らの意見を述べる機会があるときに、 教員や他学生へ自分の意見を優れたレベルで分かりやすく伝えることができる［発信力］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで自らの意見を述べる機会があるときに、 教員や他学生へ自分の意見を概ねよいと言えるレベルで分かりやすく伝えることができる［発信力］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで自らの意見を述べる機会があるときに、 教員や他学生へ自分の意見をひととおり分かりやすく伝えることができる［発信力］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで自らの意見を述べる機会があるときに、 教員や他学生へ自分の意見を分かりやすく伝えることができない［発信力］
	コミュニケーション能力 （傾聴力、柔軟性）	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで問われるコミュニケーション能力のうち、以下のすべての点が大変優れたレベルでできる。 ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで問われるコミュニケーション能力のうち、以下の点で優れてたレベルでできる。 ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで問われるコミュニケーション能力のうち、以下の点が概ね良いと言えるレベルである。 ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで問われるコミュニケーション能力のうち、以下の点がひととおりできる。 ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで問われるコミュニケーション能力のうち、以下の点ができない。 ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］

常磐大学　総合政策学部法律行政学科　成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「卒業論文Ⅱ」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59～0 点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評　価　基　準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）卒業論文作成にむけて必要な基本的なことが理解できる。［知識・態度］	課題発見能力 （テーマ設定に関する知識がある）	卒業論文とは各自の問題関心に基づきテーマを設定をするものであり、そのために以下のすべての点が必要であるということが、優れたレベルで理解できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	卒業論文とは各自の問題関心に基づきテーマを設定をするものであり、そのために以下のすべてのではないもののいくつかの点が必要であるということが優れたレベルで理解できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	卒業論文とは各自の問題関心に基づきテーマを設定をするものであり、そのために以下の点が必要であるということが概ねよく理解できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	卒業論文とは各自の問題関心に基づきテーマを設定をするものであり、そのために以下の点が必要であるということがひととおり理解できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	卒業論文とは各自の問題関心に基づきテーマを設定をするものであり、そのために以下の点が必要であるということが理解できていない。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定
	内容構成力 （主題、論点、批判的考察）	卒業論文作成にあたり、以下のすべての点が重要であることが、大変優れたレベルで理解できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文作成にあたり、以下のすべてではないもののいくつかの点が重要であることが、優れたレベルで理解できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文作成にあたり、以下の点が重要であることが、概ねよく理解できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文作成にあたり、以下の点が重要であることが、ひととおり理解できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文作成にあたり、以下の点が重要であることが、理解できていない。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる
	理解力 （専門領域の視座から課題を理解できる）	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、一貫して大変優れたレベルで把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、すべてではないものの優れたレベルで把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、概ねよく把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、ひととおり把握できる。	専門分野の資料に書かれている文章のなかでの、出典表示や慣行について、把握できない。
（2）卒業論文作成にむけて必要な文章の生成ができる。［行動］	基本的な文章作成能力 （誤字脱字の有無、段落処理など）	卒業論文の本文が、以下の点をすべてにおいて大変優れたレベルで考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる。	卒業論文の本文が、以下の点をすべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルで考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる。	卒業論文の本文が、以下の点を概ねよく考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる。	卒業論文の本文が、以下の点をひととおり考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる。	卒業論文の本文が、以下の点を考慮して書かれていない。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる。
	調査・情報精査能力 （資料の使用、論拠）	卒業論文で使用する資料を使用するにあたって、以下の要件をすべてにおいて大変優れたレベルで満たしている。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料を使用するにあたって、以下の要件をすべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルで満たしている。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料を使用するにあたって、以下の要件を概ねよく満たしている。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料を使用するにあたって、以下の要件を、ひととおり満たしている。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料を使用するにあたって、以下の要件を、ひとつも満たしていない。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる
（3）プレゼンテーションなどの発信やグループワークなどの協働作業の機会において、自己の意見を他学生にわかりやすく発信することができるとともに、他学生や教員とのディスカッションにおいて、他者の意見を傾聴し理解することができる。［行動］	コミュニケーション能力 （発信力）	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで自らの意見を述べる機会があるときに、 教員や他学生へ自分の意見を大変優れたレベルで分かりやすく伝えることができる［発信力］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで自らの意見を述べる機会があるときに、 教員や他学生へ自分の意見を優れたレベルで分かりやすく伝えることができる［発信力］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで自らの意見を述べる機会があるときに、 教員や他学生へ自分の意見を概ねよいと言えるレベルで分かりやすく伝えることができる［発信力］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで自らの意見を述べる機会があるときに、 教員や他学生へ自分の意見をひととおり分かりやすく伝えることができる［発信力］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで自らの意見を述べる機会があるときに、 教員や他学生へ自分の意見を分かりやすく伝えることができない［発信力］
	コミュニケーション能力 （傾聴力、柔軟性）	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで問われるコミュニケーション能力のうち、以下のすべての点が大変にたレベルでできる。 ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで問われるコミュニケーション能力のうち、以下の点で優れてたレベルでできる。 ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで問われるコミュニケーション能力のうち、以下の点が概ね良いと言えるレベルである。 ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで問われるコミュニケーション能力のうち、以下の点がひととおりできる。 ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	プレゼンテーションやレジュメの作成、レポート、グループワークなどで問われるコミュニケーション能力のうち、以下の点ができない。 ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］

常磐大学　総合政策学部法律行政学科　成績評価基準・評価指標（ルーブリック）

「卒業論文Ⅲ」

評定	S	A	B	C	D
評点	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59～0 点
GP	4	3	2	1	0

到達目標	評価項目	評　価　基　準				
		授業内容の習熟を超えたレベルに達成している（S）	授業内容の習熟を達成している（A）	授業内容の習熟と到達目標の間にあるレベルを達成している（B）	到達目標を達成している（C）	到達目標を達成できていない（D）
（1）学部学科の学びを反映する成果物としての卒業論文が作成できる。	課題発見能力 （テーマ設定）	各自の問題関心に基づき，テーマを設定できることを示すため、卒業論文の中で以下の能力が、すべてにおいて大変優れたレベルで発揮できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	各自の問題関心に基づき，テーマを設定できることを示すため、卒業論文の中で以下の能力が、すべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルで発揮できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	各自の問題関心に基づき，テーマを設定できることを示すため、卒業論文の中で以下の能力が、概ねよく発揮できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	各自の問題関心に基づき，テーマを設定できることを示すため、卒業論文の中で以下の能力が、ひとととおり発揮できている。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定	各自の問題関心に基づき，テーマを設定できることを示すため、卒業論文の中で以下の能力が、ひとつも発揮できていない。 ・幅広い観点からの知識の活用 ・現代社会の諸問題を十分に理解 ・4年間の大学での学びの集大成としてふさわしいテーマの設定
	内容構成力 （主題、論点、批判的考察）	卒業論文の内容について、以下の能力が、すべてにおいて大変優れたレベルで発揮できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文の内容について、以下の能力が、すべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルで発揮できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文の内容について、以下の能力が、概ねよく発揮できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文の内容について、以下の能力が、ひととととおり発揮できている。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる	卒業論文の内容について、以下の能力が、ひとつも発揮できていない。 ・テーマについて主張が明確に表現できる ・テーマについての論点が明確に表現できる ・テーマについて批判的考察ができる
	理解力 （専門領域の視座から課題を理解できる）	卒業論文の本文が、以下の点をすべてにおいて大変優れたレベルで考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる。	卒業論文の本文が、以下の点をすべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルで考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる。	卒業論文の本文が、以下の点を概ねよく考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる。	卒業論文の本文が、以下の点をひととととおり考慮して書かれている。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる。	卒業論文の本文が、以下の点を考慮して書かれていない。 ・読み手に明瞭にアイディアが伝わる文章表現・言葉遣いで書くことができる ・誤字脱字がなく書くことができる ・段落の処理や句読点の位置などの基本的な文章作法に則って書くことができる。
	高度な言語表現能力 （専攻分野の慣行との合致）	卒業論文が、専攻分野の文章作法や出典表示などの慣行が卒業論文の中で、一貫して優れたレベルで正しく使用できている。	卒業論文が、専攻分野の文章作法や出典表示などの慣行が卒業論文の全体を通してみれば優れたレベルと言える範囲で、正しく使用できている。	卒業論文が、専攻分野の文章作法や出典表示などの慣行が卒業論文の中で、正しく使用できている。	卒業論文が、専攻分野の文章作法や出典表示などの慣行が卒業論文の中で、ひととおり正しく使用できている。	卒業論文が、専攻分野の文章作法や出典表示などの慣行が卒業論文の中で、正しく使用できていない。
	調査・情報精査能力 （資料の使用、論拠）	卒業論文で使用する資料について、以下の要件をすべてにおいて大変優れたレベルで満たしている。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料について、以下の要件をすべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルで満たしている。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料について、以下の要件を概ねよく満たしている。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料について、以下の要件を、ひととおり満たしている。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる	卒業論文で使用する資料について、以下の要件を、ひとつも満たしていない。 ・ 質が高く信頼ができる資料を使用できる ・ 関連性のある資料が使用できる ・ 自身の主張の根拠となるよう適切に資料が使用できる
（2）計画的に卒業論文に取り組むことができる。	コミュニケーション能力 （発信力、傾聴力、柔軟性）	卒業論文に取り組むにあたり、下のコミュニケーションスキルが、すべてにおいて大変優れたレベルで発揮できている。 ・ 教員や他学生と卒業論文について自分の意見を分かりやすく伝えることができる［発信力］ ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	卒業論文に取り組むにあたり、下のコミュニケーションスキルが、すべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルで発揮できている。 ・ 教員や他学生と卒業論文について自分の意見を分かりやすく伝えることができる［発信力］ ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	卒業論文に取り組むにあたり、下のコミュニケーションスキルが、概ねよく発揮できている。 ・ 教員や他学生と卒業論文について自分の意見を分かりやすく伝えることができる［発信力］ ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	卒業論文に取り組むにあたり、下のコミュニケーションスキルが、ひととおり発揮できている。 ・ 教員や他学生と卒業論文について自分の意見を分かりやすく伝えることができる［発信力］ ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］	卒業論文に取り組むにあたり、下のコミュニケーションスキルが、発揮できていない。 ・ 教員や他学生と卒業論文について自分の意見を分かりやすく伝えることができる［発信力］ ・教員や他学生から受ける助言を丁寧に聴くことができる。［傾聴力］ ・教員や他学生と意見の食い違いがある場合に相手の言わんとするところを理解する力がある［柔軟性］
	自己管理能力 （主体性、実行力、計画力、ストレスコントロール）	卒業論文に取り組むにあたり、下の自己管理が、すべてにおいて大変優れたレベルでできている。 ・卒業論文作成のために自ら進んで主体的に動くことができる［主体性］ ・卒業論文作成のために、指導教員に言われたことだけではなく、自ら目標を設定し実行に移すことができる［実行力］ ・卒業論文作成のために計画的に動くことができる［計画力］ ・卒業論文作成にあたりストレスの発生源に対応することができる［ストレスコントロール力］	卒業論文に取り組むにあたり、下の自己管理のすべてではないもののいくつかにおいて優れたレベルできている。 ・卒業論文作成のために自ら進んで主体的に動くことができる［主体性］ ・卒業論文作成のために、指導教員に言われたことだけではなく、自ら目標を設定し実行に移すことができる［実行力］ ・卒業論文作成のために計画的に動くことができる［計画力］ ・卒業論文作成にあたりストレスの発生源に対応することができる［ストレスコントロール力］	卒業論文に取り組むにあたり、下の自己管理が概ねよくできている。 ・卒業論文作成のために自ら進んで主体的に動くことができる［主体性］ ・卒業論文作成のために、指導教員に言われたことだけではなく、自ら目標を設定し実行に移すことができる［実行力］ ・卒業論文作成のために計画的に動くことができる［計画力］ ・卒業論文作成にあたりストレスの発生源に対応することができる［ストレスコントロール力］	卒業論文に取り組むにあたり、下の自己管理がひととおりできている。 ・卒業論文作成のために自ら進んで主体的に動くことができる［主体性］ ・卒業論文作成のために、指導教員に言われたことだけではなく、自ら目標を設定し実行に移すことができる［実行力］ ・卒業論文作成のために計画的に動くことができる［計画力］ ・卒業論文作成にあたりストレスの発生源に対応することができる［ストレスコントロール力］	卒業論文に取り組むにあたり、下の自己管理が1つもできていない。 ・卒業論文作成のために自ら進んで主体的に動くことができる［主体性］ ・卒業論文作成のために、指導教員に言われたことだけではなく、自ら目標を設定し実行に移すことができる［実行力］ ・卒業論文作成のために計画的に動くことができる［計画力］ ・卒業論文作成にあたりストレスの発生源に対応することができる［ストレスコントロール力］